

10月の日程 2022 年末交渉開始 一時金への拘り 職場の問題を組合へ

J-WING

日本航空ユニオン直営ニュース
No 231 (14-01)
2022年 9月30日

Tel: 03-5756-8690 URL <http://www.jlu.co.jp> e-mail honbu@jlu.co.jp

日付	10月の取り組み	日付	10月の取り組み
1		16	
2		17	
3	フェニックスピラ7:30~8:30	18	中央執行委員会
4	中央執行委員会&支部代表者会議	19	
5		20	
6		21	航空連年末学習会 18:00~
7		22	
8		23	
9		24	JU 宣伝ピラ7:00~8:30 (予定) 映画『時の航路』上映会 大田区民プラザ「大ホール」
10		25	中央執行委員会
11	中央執行委員会	26	
12	14-01 中央委員会	27	
13		28	
14	WING 朝ピラ7:00~8:30 (予定)	29	
15		30	
		31	

22 年末スト権投票 11/01まで

スト権投票

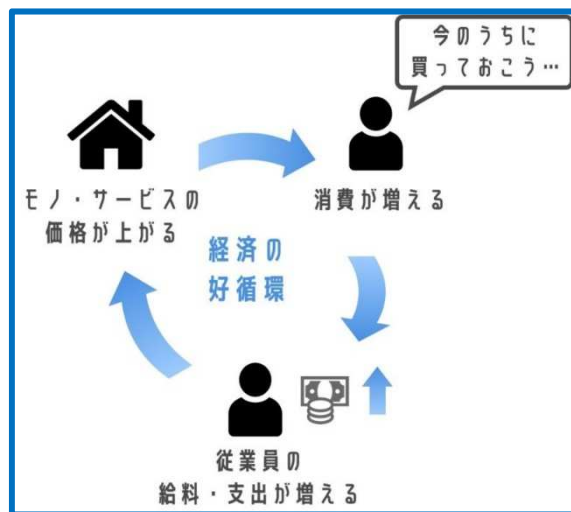
映画の前売り券販売中!

22 年末回答指定日は11月1日

大企業として 日本経済の好循環に貢献すべき

ロシアによるウクライナ侵攻が長期化し、世界的なインフレが進んでいます。この図は良いインフレを示したもので、従業員の賃金が増え、需要が増えるとモノ・サービスの値段が上がることになっています。しかし、今は世界的なエネルギー価格の高騰に加え、日本では円安の影響で輸入物価が上がっているため、少し違う状況になっています。

適度なインフレを目指す政府の政策も大事ですが、各企業が主体的に出来ることもあります。



「給料が増える」ことから始まるサイクルに



「賃金や一時金は上がるもの」と考えられれば、モノやサービスの価格が上がる前に「今のうちに買っておこう…」となるはず。例えば、今年はパナソニックの家電が次々に値上げしています。そうすると他のメーカーも価格転嫁しやすくなるため今後も値上がりするでしょう。私たちが年末一時金の

心配さえ無ければ早めの買い替えも可能です。家電が売れてパナソニックの利益が上がって、従業員の給料が増えれば、旅行や帰省でもっと JAL を使ってもらえるかもしれません。利用者があれば航空券の価格も上げられます。そう考えると JAL グループの年末一時金はこのサイクルに大きな影響を与えるものといえます。

経営の考え 黒字であれば 2 カ月+2 カ月

夏は 1.5 カ月のみ 黒字見通しを変えない年末は?

6 年経って忘れてませんか?

朝食無料のホテルはパーディウム減額なし

これから年末闘争が始まりますが、2016 年の年末闘争で朝食無料ホテルのパーディウムの減額について交渉し、労使で取り扱いの確認をしています。改めて交渉の経緯を振り返ります。

組合 朝食無料のホテルに泊まった時にパーディウムから 1000 円引かれるが、積み重ねると、ひと月分にもなると大きな金額になる。

整本 朝食の時間に物理的に居なければ減額はしないとしていたが、今後は朝食提供を受けたか否かという事実で判断していく。

組合 無料でも朝食を食べれば減額される。

整本 そこは社員の申告を信頼して判断していく。



この時に規程が変わったわけではないので、最近またこの問題がぶり返しているようです。「朝食無料」はホテルのサービスで、朝食提供を受けたことにはなりません。自己申告で「食べてない」と言えば減額されません。少ないパーディウムのうち 1000 円は貴重。この話、後輩たちにも引き継ごう！

航空連 年末学習会オンライン

「航空業界における

労働者が抱える精神的ストレス状態の検討」

講師: 筑波大学 人間系准教授 大塚泰正さん

10 月 21 日(金)18:00～参加希望者は本部に連絡を